

平成23年度 東北森林管理局重点取組事項について

平成23年度に東北森林管理局が重点的に行う取組について、別紙のとおりお知らせします。

なお、東北森林管理局のホームページでもご覧になれます。

(ホームページアドレス <http://www.tohoku.kokuyurin.go.jp/>)

[問い合わせ先]

東北森林管理局	企画調整室	
谷	秀治	TEL:018-836-2270
後藤	敏	TEL:018-836-2276
岸田	周	TEL:018-836-2274

平成23年度 東北森林管理局重点取組事項

1	東日本大震災への対応	1
(1)	機動的な木材の供給	1
①	仮設住宅用資材、復興用資材の安定供給の確保	1
②	木材加工施設の被災により変化した 木材需要構造に対応した供給の調整	1
③	計画的な木材供給と広域化の推進	1
(2)	被災地支援の積極的な推進	2
①	瓦礫の一時置き場、仮設住宅用地への国有林の提供	2
②	地域雇用の確保に向けた機動的な事業の実施	2
(3)	津波で被災した海岸林や地震により崩壊した山地の復旧に向けた取組	3
(4)	被災した森林管理署、森林事務所の機能回復及び宿舍の整備	4
2	森林・林業再生のための先導的活動の展開	5
(1)	先進的・先導的な技術の普及と担い手の育成	5
①	航空レーザー計測による効率的な森林資源の把握	5
②	コンテナ苗を活用した低コスト造林	5
③	国有林のフィールド・技術の提供	6
④	「准フォレスター」による民有林行政の支援	6
(2)	民国連携した効率的な木材生産の推進	7
①	「儲かる間伐」の取組推進	7
②	森林共同施業団地の設定	8
(3)	公益的機能の持続的発揮	9
①	生物多様性の保全	9
②	森林吸収源対策の推進	12
③	松くい虫やナラ枯れ被害の拡大防止	13
④	地域の安全・安心を確保する治山対策の展開	14
3	2011国際森林年に関する取組	16
(参考)	主な事業量	18

1 東日本大震災への対応

(1) 機動的な木材の供給

① 仮設住宅用資材、復興用資材の安定供給の確保

仮設住宅資材用の原木を杭丸太に換算して約48万本分を供給。

→ 今後も東北国有林の豊かな森林資源を、仮設住宅用資材、復興用資材用の原木として安定的に供給。



杭丸太の供給

(左：杭丸太用の原木を輸送（秋田県能代市）、右：完成した杭丸太（秋田県仙北市）)

② 木材加工施設の被災により変化した木材需要構造に対応した供給の調整

この度の震災で、全国の国産材消費量の約3割を占める合板用木材加工施設が被害を受けるなど岩手・宮城県の沿岸部の木材加工施設に甚大な被害。

→ 東北地域の需要状況を的確に監視しながら、木材加工施設の回復状況に合わせて弾力的に木材を供給。

③ 計画的な木材供給と広域化の推進

被災地の復旧・復興状況に併せて計画的に木材の供給を図るとともに、管外にも販路拡大を図り広域化を推進。

問い合わせ先

東北森林管理局 販売課

TEL：018-836-2120 FAX：018-836-3594

(2) 被災地支援の積極的な推進

① 瓦礫の一時置き場、仮設住宅用地への国有林の提供

国有林を提供できる候補地を岩手・宮城両県の災害対策本部に情報提供。

宮城県・仙台市・石巻市に、瓦礫の一時置き場として約405haの国有林を無償貸付。

→ 今後も、地方自治体からの要請に迅速に対応。



国有林の提供候補地

(左：瓦礫の一時置き場（岩手県久慈市）、右：仮設住宅用地（宮城県仙台市）)

問い合わせ先

東北森林管理局 国有林野管理課

TEL：018-836-2020 FAX：018-836-2028

② 地域雇用の確保に向けた機動的な事業の実施

被災地の復旧状況を勘案して、素材生産事業及び造林事業について機動的な事業の実施を通じて雇用を確保。

問い合わせ先

東北森林管理局 森林整備課

TEL：018-836-2161 FAX：018-836-3594

東北森林管理局 販売課

TEL：018-836-2120 FAX：018-836-3594

(3) 津波で被災した海岸林や地震により崩壊した山地の復旧に向けた取組

宮城県（仙台市、石巻市、気仙沼市、名取市、岩沼市、東松島市、巨理町、山元町、七ヶ浜町）及び青森県（三沢市）の潮害防備保安林など（延長 約36.4km、面積約635ha）が津波により流失。

青森県三沢市で約100m、宮城県気仙沼市で約1,600mの防潮護岸工が津波により倒壊。



被害の状況

（左：海岸防災林の被災（宮城県岩沼市）、右：防潮護岸工の倒壊（宮城県気仙沼市））

地域の安全・安心を確保するため、学識経験者等の意見を踏まえ、地元関係機関と連携を図りながら海岸防災林や崩壊した山地の復旧対策を実施。

問い合わせ先

東北森林管理局 治山課

TEL：018-836-2250 FAX：018-836-2018

(4) 被災した森林管理署、森林事務所の機能回復及び宿舍の整備

被災した森林管理署及び森林事務所の庁舎は、10(支)署で19件。このうち、全壊は3署で7件。

(全壊した庁舎)

- ・ 三陸北部森林管理署：署庁舎、宮古森林事務所、山田森林事務所
- ・ 三陸中部森林管理署：高田森林事務所、大槌森林事務所
- ・ 宮城北部森林管理署：鮎川森林事務所、戸倉森林事務所

また、被災した宿舍(一般借受宿舍除く)は8署で25件の被害。このうち、全壊は三陸北部署で13件。

→ 全壊した施設は他の施設に機能を移転するとともに、使用可能な施設は早急に整備するなど被災署の機能を迅速に回復させて、地域の復旧・復興に貢献。



津波により全壊した三陸北部署の庁舎(岩手県宮古市)



津波により全壊した三陸北部署の宿舍(岩手県宮古市)

問い合わせ先

東北森林管理局 経理課

TEL: 018-836-2070 FAX: 018-836-2085

東北森林管理局 職員厚生課

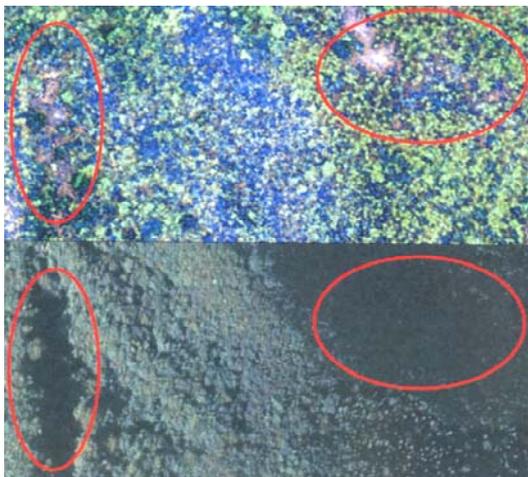
TEL: 018-836-2050 FAX: 018-836-2188

2 森林・林業再生のための先導的活動の展開

(1) 先進的・先導的な技術の普及と担い手の育成

① 航空レーザー計測による効率的な森林資源の把握

効率的に森林資源を把握するために、精度の高い森林に関する情報が得られかつ目的に応じて加工が可能な航空レーザー計測技術の実用化に向けて、計画、収穫、路網整備の各種事業で実証を行い、森林・林業分野に活用を推進。



(画像の比較)

デジタルカメラの画像では、影で判別しにくい区域でも、レーザー計測では森林状況が鮮明に判別。

上：レーザー計測による画像

下：デジタルカメラで撮影した画像

問い合わせ先

東北森林管理局 計画課

TEL：018-836-2200 FAX：018-836-2203

② コンテナ苗を活用した低コスト造林

コンテナ苗を活用した低コスト造林の実用化に向け、宮城県でクロマツ・スギのコンテナ苗を植栽。プロットを設置し調査を継続実施。

→ 本年度は植栽地を宮城県以外に岩手県・秋田県・山形県に拡大。スギ約3万4千本・カラマツ約3千本を植栽し調査を実施。



左：クロマツのコンテナ苗

右：コンテナ苗の植付作業

(宮城県仙台市)

問い合わせ先

東北森林管理局 森林整備課

TEL：018-836-2161 FAX：018-836-3594

③ 国有林のフィールド・技術の提供

(准フォレスター研修等の開催)

フォレスター等の育成のため、平成23年8月から「准フォレスター研修」及び「林業専用道技術者研修」を国有林のフィールドを利用して実施し、森林・林業の再生に向けた人材育成を推進。

問い合わせ先

東北森林管理局 指導普及課

TEL:018-836-2201 FAX:018-836-2012

(低コスト作業システムの推進)

低コスト作業システムの普及・定着に向けて、自ら実践するとともに、民有林関係者と連携を図りながら森林作業道に主眼をおいた低コスト作業システム現地検討会を国有林のフィールドを利用して東北局管内5県で開催。

低コスト作業システム現地検討会
(青森県十和田市)



問い合わせ先

東北森林管理局 販売課

TEL:018-836-2120 FAX:018-836-3594

④ 「准フォレスター」による民有林行政の支援

「准フォレスター」(准フォレスター研修を終了した職員)による市町村森林整備計画の策定支援など民有林行政をサポート。

准フォレスターによる支援業務
(イメージ)



問い合わせ先

東北森林管理局 指導普及課

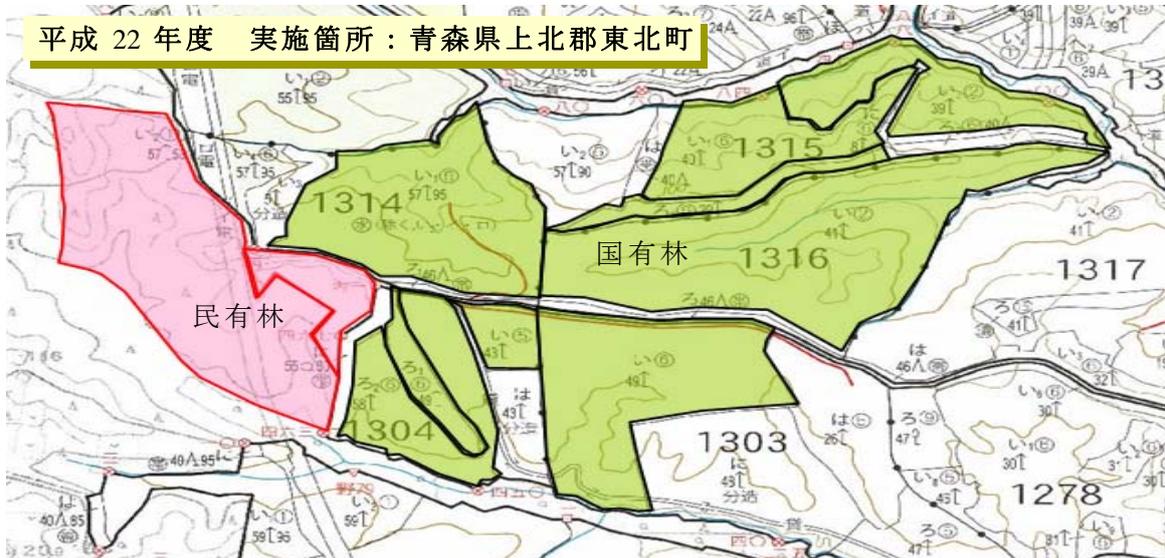
TEL:018-836-2201 FAX:018-836-2012

(2) 民国連携した効率的な木材生産の推進

① 「儲かる間伐」の取組推進

平成22年度から、民有林・国有林が連携し間伐箇所のまとまりを確保して路網や土場を共同利用するなど、連携した間伐や間伐材の販売を試行的に取組。

→ 本年度はその実施状況を整理・分析し、儲かる間伐を拡大するための方策を検討し他地域へ普及推進。



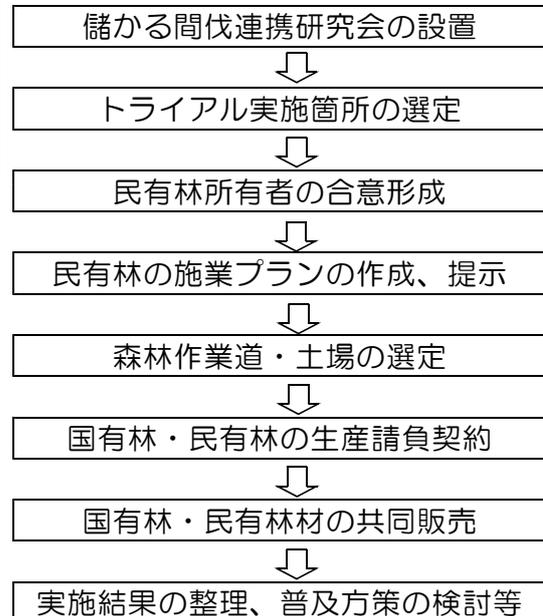
平成22年度 実施箇所：青森県上北郡東北町

平成22年度間伐対象面積（単位：ha）				
実施箇所	民有林相手方	民有林	国有林	計
青森県青森市	青森県森林組合連合会	33	19	52
青森県東北町	東北町森林組合	34	112	146
青森県七戸町	上北森林組合	16	48	64



山元土場での作業状況（青森県東北町）

取り組みの流れ



問い合わせ先

東北森林管理局 青森事務所

TEL：017-781-4201 FAX：017-761-1121

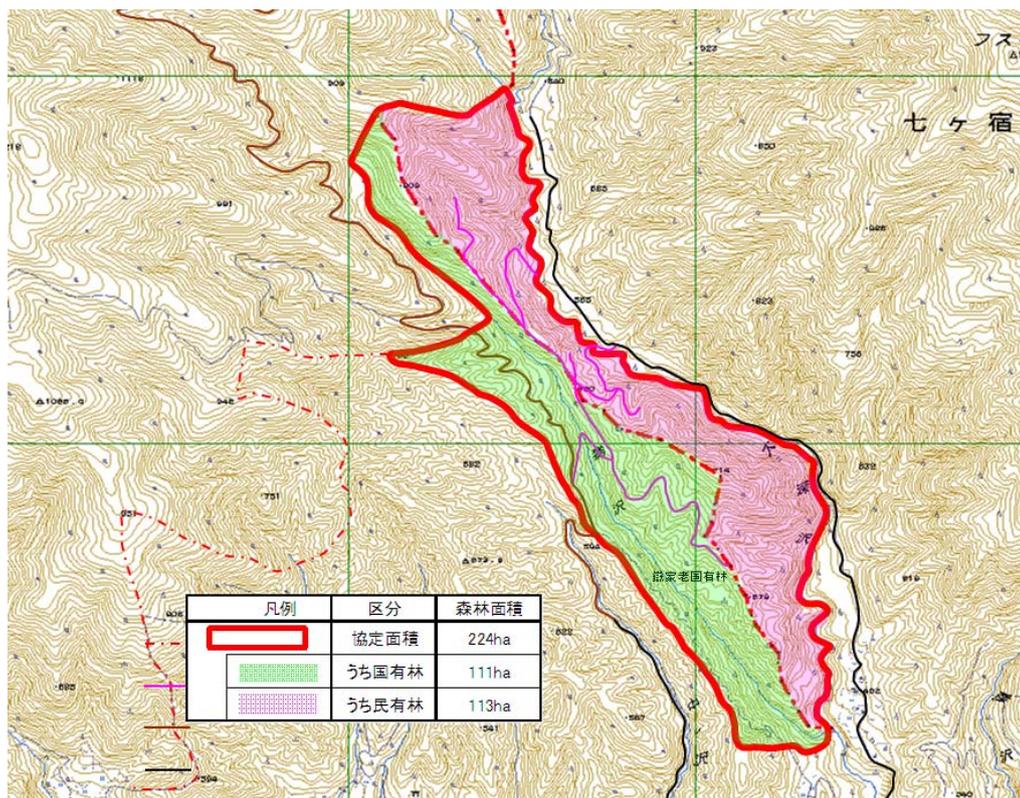
② 森林共同施業団地の設定

森林・林業再生プランの目標である木材自給率50%を達成するためには、民有林と連携した効率的な木材供給体制の構築が不可欠。このため、森林共同施業団地の設定を推進し、路網施設の共用など合理的な森林施業や大ロット化等に向けた先駆的な取組を推進。

→ 今年度も引き続き、森林・林業再生プランの推進のモデルとなるべく、森林共同施業団地の設定増加など民・国一体となった取組を推進。

平成22年度の森林共同施業団地設定箇所一覧

所在地	協定名称	協定相手方	区域面積 (ha)
青森県	石浜尻高川地域森林整備推進協定	(独) 森林総研森林農地整備センター 青森水源林整備事務所、(社) 青い森農林振興公社	693
宮城県	七ヶ宿町地域森林整備協定	古川林業(株)	224
秋田県	大館市長木地域森林整備協定	(独) 森林総研森林農地整備センター 秋田水源林整備事務所	1016
秋田県	小白川地域集約化施業モデル団地協定	仙北東森林組合、雄物川流域林業活性化センター	64
計			1896



宮城県七ヶ宿町地域森林整備協定 対象区域図

問い合わせ先

東北森林管理局 計画課

TEL: 018-836-2200 FAX: 018-836-2203

(3) 公益的機能の持続的発揮

① 生物多様性の保全

【白神山地世界遺産地域の適切な保全管理】

昨年6月に白神山地世界遺産地域連絡会議の助言機関として設置された白神山地世界遺産地域科学委員会を運営し、環境省等の関係機関と連携を図りながら世界遺産地域の保全管理を推進。また、白神山地を考える旬間の一環として白神山地の価値を再認識するためのシンポジウムを開催。



左：第1回白神山地世界遺産地域科学委員会（青森県弘前市）

右：白神山地世界遺産地域研究シンポジウム（秋田県秋田市）

また、世界遺産地域等の保全管理に役立てるため、白神山地への来訪者にアンケートなどを実施しその実態を把握。

平成7年から世界遺産地域内にモニタリング調査区を設けブナ林の動態変化を把握。今年度は調査区の整備や調査機器の充実に取組。



左：年間約7千人が訪れる岳岱自然観察教育林（秋田県藤里町）

右：モニタリング調査（秋田県藤里町）

【保護林や緑の回廊のモニタリング調査や針交混交林化】

原生的な森林等の保護を目的とした「保護林」や保護林を繋ぐことで動植物の移動経路を確保する「緑の回廊」を適切に管理するため、長期的なモニタリング調査を実施。

また、昨年度実施した緑の回廊の抜伐り検討委員会の結果を踏まえて、「緑の回廊」の抜伐り方針の見直しを行い、効果的な針広混交林化を推進。

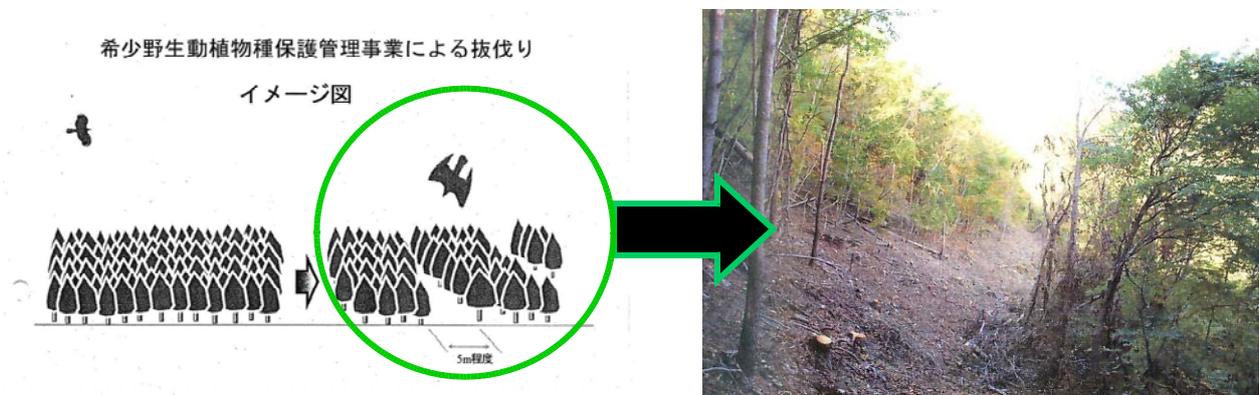


左：委託によるモニタリング調査（山形県飯豊町）
右：抜伐りの方針見直しのための現地検討会（岩手県八幡平市）

【希少野生動植物の保護】

イヌワシ・クマタカ・クマゲラやチョウセンキバナアツモリソウといった希少野生動植物を保護するため、巡視活動、調査のほか、森林整備を通じた猛禽類の採餌環境の整備等を実施。

区分	H22	H23	H23実施県
巡視	7署	8署	岩手・宮城・秋田・山形
調査	6署	4署	岩手・秋田・山形
森林整備	7署	2署	岩手・山形



左：森林整備を通じた猛禽類の採餌環境の整備（イメージ）
右：森林整備後の様子（岩手県陸前高田市）

【ニホンジカの対策】

岩手県中部においてニホンジカの生息域の拡大が懸念されるため、早池峰山周辺でニホンジカの生息状況やニホンジカによる希少植生への被害状況を把握するとともに
専門家から意見を聴取し適切な対策を検討。



ニホンジカの生息状況調査（イメージ）

問い合わせ先

東北森林管理局 計画課

TEL：018-836-2200 FAX：018-836-2203

東北森林管理局 指導普及課

TEL：018-836-2201 FAX：018-836-2012

② 森林吸収源対策の推進

間伐などの森林整備により、森林吸収源対策を通じた地球温暖化防止を図るとともに、水源のかん養や土砂流出の防備、生物多様性の保全などの森林の機能を高め「活力のある森づくり」を推進。



間伐の実施状況（イメージ）

問い合わせ先

東北森林管理局 計画課

TEL：018-836-2200 FAX：018-836-2203

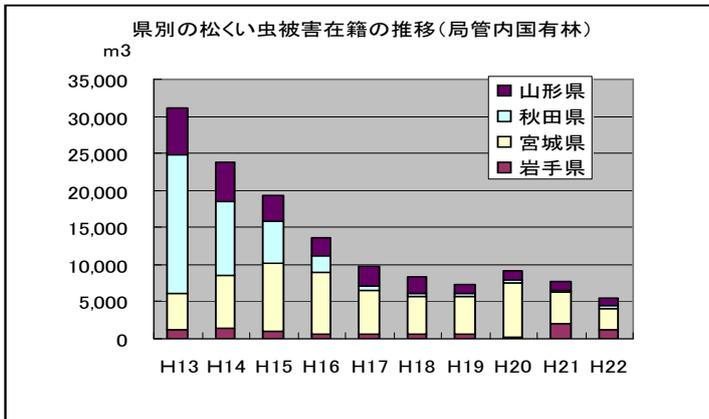
東北森林管理局 森林整備課

TEL：018-836-2161 FAX：018-836-3594

③ 松くい虫やナラ枯れ被害の拡大防止

松くい虫被害は、青森県を除く4県で被害があるものの平成13年をピークに減少傾向。しかし、昨年1月に青森県の蓬田村（民有林）のクロマツで、青森県初となる松くい虫被害が確認。

今年度も、青森県内に被害が拡大しないよう青森県等と連携を図り巡視を行い、早期発見・早期駆除に取り組むとともに、マツを除去した防除帯で植樹を実施。



防除帯での植樹（青森県深浦町）

ナラ枯れ被害は、平成15年に山形県で発生以来、昨年岩手県内でも被害が発生し依然拡大傾向。

このため、昨年度策定したナラ枯れ被害の防除対策方針に基づき、被害先端地域では被害木の駆除、被害のまん延地域（山形県）では重点的に防除を行うナラ林において薬剤注入による予防と周辺被害木の駆除を実施し、民有林と連携して被害の拡大防止やナラ林の保全等に取り組む。

また、昨年度に引き続き面的な防除対策としての「合成フェロモン」による誘引捕殺（おとり木トラップ等）による防除を試験的に実施。

ナラ枯れ被害の推移（国有林）（単位:本）

県名	H20	H21	H22
岩手			5
宮城		104	1,075
秋田	1	203	631
山形	38,902	58,461	37,208
計	38,903	58,768	38,919



合成フェロモンを用いた面的防除（山形県小国町）

問い合わせ先

東北森林管理局 森林整備課

TEL: 018-836-2161 FAX: 018-836-3594

④ 地域の安全・安心を確保する治山対策の展開

【岩手・宮城内陸地震災害の復旧】

平成20年6月に発生した地震により、東北地方の山間地域において甚大な被害。山地災害の復旧も順調に進んでおり、県道などのライフラインも復旧、住民は元の暮らしを取り戻しつつある状況。



宮城県栗原市

左：被災直後 右：復旧状況

【安心・安全な山づくり】

平成22年に東北地方の各地で局地的な豪雨により山腹崩壊などが発生。

崩壊箇所に対しては、再度災害のおそれがあるなど緊急的な対応を要する箇所について災害関連緊急事業を実施するとともに今後も順次復旧対策を実施。



青森県外ヶ浜町

左上：被災直後、右上：復旧状況、下：復旧状況の全景

【治山事業における木材の利用】

治山事業において木製工法を積極的に採用し木材利用を促進することにより、景観との調和を図るとともに、炭素の貯蔵に貢献しながら保安林機能の維持保全を図る治山対策を推進。

木製水路工の施工(秋田県仙北市)



問い合わせ先

東北森林管理局 治山課

TEL：018-836-2250 FAX：018-836-2018

3 2011国際森林年に関する取組

2011年（平成23年）は、国連が定めた国際森林年（the International Year of Forests）であり、我が国のテーマは「森を歩く」と決定。

東北森林管理局では、東北の豊かな森林を守り育てていくこと、また、そのために国民一人一人が具体的に行動することが重要であることについて、一人でも多くの地域の方々に理解を深めていただき、東北の森林・林業の再生につなげていくことを目的として、関係機関とも連携しながら、情報発信やイベントの開催などを積極的に推進。（次項イベントカレンダー参照）

また、職員自らが間伐ボランティア活動など森林とのきずなを深める取組を率先して実践。



左：森吉山国有林公開フォーラム（秋田県北秋田市）
右：国民の森林づくり推進功労者感謝状贈呈式（秋田県秋田市）

※ 国際森林年のロゴマーク



ロゴマークは「Forests for People（人々のための森林）」というテーマを伝えるもので、世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割をたたえるものです。人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザインとなっています。

問い合わせ先
東北森林管理局 企画調整室
TEL：018-836-2270 FAX：018-836-2031

☆国際森林年イベントカレンダー☆

平成23年5月20日現在

開催県	開催地	担当署	時期	名称	概要	主催者	担当者
青森県	未定	津軽森林管理署	6月	「守ろう地球のたからもの」国際森林年植樹祭	白神山地周辺の森林整備（植樹祭）を企業、森林ボランティアにより実施	日本ユネスコ協会	流域管理調整官 (050-3160-5870)
	未定	三八上北森林管理署	6月	2011森林の恵み環境祭	地域の方々を対象とした木工体験や木材、山菜等の販売	三八上北森林管理署	流域管理調整官 (0176-23-3551)
	未定	下北森林管理署	7月	未定	一般市民参加型の森林整備（育樹祭）の実施	下北森林管理署	流域管理調整官 (050-3160-5885)
	未定	青森森林管理署	9月	育樹祭	関係者による育樹作業の実施	青森森林管理署	業務第一課長 (050-3160-5880)
	未定	東北森林管理局 計画課	9月	白神山地を考える旬間	白神山地シンポジウム、白神講座、世界遺産地域合同パトロールの実施	秋田県 東北森林管理局 東北森林管理局青森事務所	自然遺産保全調整官 (018-836-2489)
岩手県	久慈市	久慈支署	10月	未定	久慈管内の小学生を対象に行われる久慈地方木工工作コンクールの実施	NPO法人 久慈地方木材青年協議会	業務課長 (0194-53-3391)
宮城県	東原市	宮城北部森林管理署	6月	未定	岩手・宮城内陸地震で崩壊した林地を治山工事により復旧した箇所に地元の木による植樹を実施	NPO法人 森林との共生を考える会	次長 (0229-22-2074)
	仙台市	仙台森林管理署	11月	治山の森見学会	一般市民を対象に「治山の森」を活用した治山施設等の見学会及び森林教室を実施	仙台森林管理署	治山課長 (022-273-1111)
	未定	仙台森林管理署	12月	森林教室	仙台森林管理署管内の小学校で、森林教室の希望がある小学校に対し職員が実施	仙台森林管理署	業務課長 (022-273-1111)
秋田県	秋田市	東北森林管理局 指導普及課	地震のため秋頃に延期	森林の市	春期「緑の募金」活動と併せ、森林の市を開催	東北森林管理局	課長補佐 (018-836-2214)
	未定	米代東部森林管理署	6月	米代川上中流域植樹祭及び治山工事見学会	小学校児童、地元住民等による植樹活動及び治山工事の現地見学	岩手県米代川流域協同組合 秋田県米代川流域3漁業協同組合 岩手北部森林管理署 米代東部森林管理署	流域管理調整官 (0186-50-6130)
	未定	東北森林管理局 計画課	9月	白神山地を考える旬間	白神山地シンポジウム、白神講座、世界遺産地域合同パトロールの実施	秋田県 東北森林管理局 東北森林管理局青森事務所	自然遺産保全調整官 (018-836-2489)
	未定	米代東部森林管理署	10月	大湯小学校森林体験学習	小学校児童を対象にした、森林環境教育、森林体験活動	鹿角市立大湯小学校 米代東部森林管理署	業務第一課長 (0186-50-6130)
	能代市	米代西部森林管理署	10月	未定	一般市民参加の森林環境整備事業の実施	米代西部森林管理署	業務第一課長 (0185-54-5511)
	湯沢市	湯沢支署	10月	「ヤマメの森」植樹	ヤマメ、イワナの住みよい環境をつくるため、護国漁協を主体に県、自治体、小学校、住民が参加して広葉樹を植樹	護国漁業協同組合	業務課長 (0183-73-2164)
	未定	由利森林管理署	10月	森林づくりの集い	由利本荘市、ボランティア等と連携しクロマツの植栽や、既に生育しているクロマツ林の除伐等を実施	由利森林管理署	流域管理調整官 (0184-22-1076)
山形県	山辺市	山形森林管理署	10月	植樹祭	分岐造林園防での植樹祭の実施	ニッセイ緑の財団 山形森林管理署	業務課長 (0237-86-3161)
	山形市	山形森林管理署	10月	植樹祭	生活環境保全林整備事業による植樹祭等の実施	山形森林管理署	治山課長 (0237-86-3161)
	小国町	置賜森林管理署	6月18～19日	国際森林年記念「フナの森研修会」	フナ林について、講演・事例発表、現地研修会を実施	小国町 置賜森林管理署	森林ふれあい係 (0238-62-2246)
管内各県	未定	東北森林管理局 指導普及課	4月～5月	春期緑の募金	緑の募金活動の実施	管内各県緑化推進委員会等	課長補佐 (018-836-2214)

※ 東北森林管理局のHP (http://www.rinyamaff.go.jp/tohoku/policy/business/management/kaikaku/kokusai_sinninen.html) では、随時情報を更新しています。

(参考) 主な事業量

平成23年度 主要事業量 (年度当初)

区 分	単 位		当初予定		前年度比 (%)	
			23年度	22年度		
収 穫 量	千m3	合 計	2,617	2,354	111	
		内訳	(主 伐)	781	777	101
			(間 伐)	1,835	1,577	116
製品生産	千m3	合 計	663	628	106	
		内訳	(青森ヒバ)	13	13	100
			(天然スギ)	2	2	100
			(ス ギ)	338	362	93
			(カラマツ)	54	53	102
			(その他 N・L)	256	198	129
更 新 量	h a	合 計	863	784	110	
		内訳	(新 植)	723	626	115
			(天然更新)	140	158	89
造 林 (保 育)	h a	合 計	15,901	14,463	110	
		内訳	(直 よ う)	7	114	6
			(請 負)	15,894	14,349	111
林道新設	k m	合 計	46	27	172	
治山事業	百万円	合 計	8,647	6,146	141	

- (注) ① 年度当初予定には、前年度の繰越事業量を含む。
 ② 更新量欄の天然更新の事業量は、天然更新を促すための地ごしらえ作業量。
 ③ 造林(保育)の事業量は、保育間伐と本数調整伐の事業量。
 ④ 治山事業は工事費、()は民有林直轄治山内書の数値である。
 ⑤ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。
 ⑥ 東日本大震災の影響により、事業量が変更する場合があります。

(参考) 主な事業量 (県別)

区 分	収 穫 量			製品生産 (千m3)	更 新 量			造林(保育) (ha)	林道新設 (km)	治山事業 (百万円)	
	主伐 (千m3)	間伐 (千m3)	計		新植 (ha)	天然更新 (ha)	計				
平成二十三年 度当初予定	青森県	356	410	766	172	287	140	427	4,027	10.4	859
	岩手県	190	449	640	121	265		265	4,360	11.8	(442) 1,820
	宮城県	42	136	178	45	56		56	1,062	4.6	(2,666) 3,853
	秋田県	116	553	668	227	67		67	4,703	13.7	745
	山形県	77	288	365	98	48		48	1,748	5.7	(600) 1,371
	計	781	1,835	2,617	663	723	140	863	15,901	46.2	(3,708) 8,647
平成二十二年 度当初予定	青森県	357	348	705	184	212	158	370	3,276	2.0	329
	岩手県	242	389	631	114	154		154	3,983	8.6	(396) 991
	宮城県	46	95	141	36	75		75	1,086	4.2	(1,797) 2,777
	秋田県	85	534	619	219	112		112	4,589	8.8	631
	山形県	47	211	258	75	73		73	1,529	3.2	(861) 1,418
	計	777	1,577	2,354	628	626	158	784	14,463	26.8	(3,054) 6,146
前年度比 (%)	青森県	100	118	109	94	135	89	115	123	519	261
	岩手県	79	115	101	106	172		172	109	138	184
	宮城県	92	143	126	125	75		75	98	110	139
	秋田県	136	103	108	104	60		60	102	155	118
	山形県	164	136	141	130	66		66	114	178	97
	計	101	116	111	106	115	89	110	110	173	(121) 141

- (注) ① 年度当初予定には、前年度の繰越事業量を含む。
 ② 更新量欄の天然更新の事業量は、天然更新を促すための地ごしらえ作業量。
 ③ 造林(保育)の事業量は、保育間伐と本数調整伐の事業量。
 ④ 治山事業は工事費、()は民有林直轄治山事業内書の数値である。
 ⑤ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。
 ⑥ 東日本大震災の影響により、事業量が変更する場合があります。